

指標生物

指標生物は以下の点を考慮して選定しています。

- ① 全国的に見つけることができ、ある程度の個体数がいて、夏には必ずいる種。
- ② だれにでも見つけることができ、似ている種が少なく区別が簡単な生物。
- ③ 水温に対しては幅広く生きることができ、「水のごれ」に対しては敏感で、指標性の高い生物。
- ④ 水深の浅いところに生息している生物。
- ⑤ 原則として、昆虫類、貝類、エビ類、カニ類。

きれいな水Ⅰ



カゲラ



カゲレビケラ



ヤマトビケラ



ヒラタカゲロウ



ヘビトンボ



ブユ



アミカ



サワガニ



ウズムシ

少しきたない水Ⅱ



コガタシマトビケラ



オオシマトビケラ



ヒラタドムシ



ゲンジボタル



コオニヤマトビケラ



カニナ



スジエビ



ヤマトシジミ



イシマキガイ



タニシ



ヒル

きたない水Ⅲ



ミスガマキリ



タイコウチ



ミスムシ



イソコツブムシ



ニホンドロコエビ

大変きたない水Ⅳ



セシジユスリカ



チョウバエ



アメリカザリガニ



サカマキガイ



エラミズ